



# 立て心よ 行け私よ

No. 6

文責:齊藤 正一

## 第32回墨坂祭 Dream～今しかできない青春を～

### 【開祭式:校長先生のお話より】

生徒会最大行事の「墨坂祭」。生徒会活動の集大成です。今年度は感染症予防策を徹底しながら、保護者の皆様には展示見学、ゲームフェスタ、音楽会において参観をしていただくようになりました。スローガンのもとに一人ひとりが、校歌にある強きちかいを胸に秘めつつ進んできたことで、今年もこのコロナ禍の苦難を乗り越え、墨坂祭を迎えることができました。

そして、いよいよ本番の2日間がやってきました。これからの2日間、492の「強きちかい」が結集し表現されれば、どれだけの大きな力になり、どれほどの感動をもたらすことができるのか、今から楽しみで心がわくわくします。

墨坂祭テーマ「Dream～今しかできない青春を～」素晴らしいですね。辞書には「Dream」の様々な意味が記されていますが、名詞の中に「心に描く夢」「実現させたい理想」「夢かと思うばかりの素晴らしい、魅力ある人、もの」という意味がありました。

ぜひ、「夢かと思うばかりの素晴らしい、魅力ある墨坂祭」に、「中学生らしく今しかできない墨坂祭」になることを期待します。

一人ひとりの「夢」や「今しかできない青春」が、隣の人の夢や青春をさらに膨らめていくことにつながります。

今年はお来賓として教育委員の土屋 保男 様、主任民生児童委員 松野 弘文 様、PTA会長 山田 雅智 様、PTA副会長 金井 和慶 様、PTA副会長 佐藤 嘉織 様に代表としてご来校頂いております。ありがとうございます。



【第32回墨坂祭パンフレット】



【全校制作】体育館を彩るモザイク画を、全校で制作しました。

各クラス等の展示、「正門アーチ」「ステージバック」「モザイク壁画」「ポスター、パンフレットの絵」、そして、これから繰り広げられるそれぞれの発表等には、考案者や制作者、そして墨坂中学校生徒一人ひとり、全員の思いや願いがぎっしり詰まっています。

今年も一般公開は残念ながらありませんが、保護者の皆様には見ていただけます。あなたたちの思いや願いは、きっと地域の皆様にも伝わっていくことでしょう。

さあ、始めましょう。

「Make your dreams come true」



【開祭式】「名探偵ユナン」や怪盗キッドも登場しました。そして、声高らかに開祭宣言が行われました。



【生徒会企画】SDGs 中間発表。内容の充実はもちろんですが、クイズを取り入れ、参加型にするという発表の工夫もありました。



【生徒会企画】3年ぶりに行われた須坂市中学生平和学習(広島訪問)の報告。発表者の真摯な思いが伝わる発表でした。



【生徒会企画】KYRS (ダンス)、バドミントンチームの発表も行われました。普段の学校生活の中ではなかなか見ることのできない、仲間の活躍の姿を見ることができました。



【正門アーチ】全校のメッセージが貼られています。



【科学部】 炎色反応の動画、情報センターでの活動、ロケットの実演などが披露されました。



【合唱部】 澄んだ歌声が、メセナホールいっぱいに響きわたりました。



【吹奏楽部】 今の墨坂中学校らしく、明るく、元気いっぱいの演奏でした。



【展示発表】 全校でお互いの学習の成果を共有する機会となりました。



【天明五閑太鼓】 迫力のある太鼓の演奏で、2日目の幕開けとなりました。



【美術部】 美術部制作のステージバックがステージを彩りました。



【音楽会】 どのクラスも、今しかできない、そのクラスにしかできない歌声で発表することができました。今年の音楽会の学年合唱は、3学年だけでしたが、早く1・2学年合唱、全校合唱ができるとうれいです。  
また、メセナホールで音楽会を行うのは、墨坂中学校の特色の一つです。準備や片づけも、生徒のみなさんが行うことで、ホールでの音楽会が実現しています。





【ゲームフェスタ】じゃんけんリレー、応援合戦、大縄跳び（8の字跳び）、全員リレーの4種目で熱い戦いが繰り広げられました。



【閉祭式】テーマソングにあわせた全校のダンスで、第32回墨坂祭が閉祭となりました。



会場で見るとよりも、きれいで見やすいという声も聞かれた限定 YouTube 配信。あまり目立たないところかもしれませんが、こういう場面で本気になって、質の高い活動ができるところに、今の墨坂中学校の底力を感じます。

【開祭式：校長先生のお話より】

いやー みんなの夢が実現しましたね。

「夢かと思うばかりの素晴らしい、魅力ある墨坂祭」に、「中学生らしく今しかできない墨坂祭」になりましたね。一人ひとりの「夢」や「今しかできない青春」が、隣の人の夢や青春をさらに膨らめていきました。

一人ひとりの笑顔、真剣な眼差し、仲間と交わしたエールや励ましの中に、Dream があり、今しかない青春がありました。そうした皆さんの姿に触れる度に涙がでました。

墨坂祭の「さい」は「まつり」とも読みます。古来から『祭』は仲間との絆を深め、人との結びつきを強くしてきました。私たちはそんな『祭』をどの地域でも大切に生活してきました。みんなで力を合わせて、無病息災や豊作を祈り、土地の恵みに感謝し、お祝いしてきたのです。「墨坂祭」は「ああ墨坂 我らが母校」結束の表現の場であり、みなさん一人ひとりの思いや願いを発信する場でもありました。

この2日間でさらに深まった友との絆を信じ、3年生はこれから本番を迎える自己実現への過程に、2年生はいよいよ墨坂中の顔となるべく生徒会の引き継ぎに、1年生は2年生に向けての土台となる今あるクラスの更なる団結に向けて、「立て心よ 行け私よ」をそれぞれが具体的に示し、これからの学校生活をさらに充実したものにしていきましょう。

墨坂祭 万歳